



日本国と世界、現実と未来

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

経済戦争は、資本力とともに現実を与える。政治と軍は、他方における現実である。

日本は新世界秩序に組み込まれ、その明確な役割を有する。これらは世界の唯一の現実であり、他における世界戦略は存在しないのである。

為替の下落は、明らかな経済戦争の敗北と理解を世界が共有するものである。世界の先端軍事技術と宇宙技術は、計り知れない優位性を現実を与えるものである。

しかし内実を探るとき、日本国の経済は、全ての分野において世界への追従を有し、その分野を全てにおいて有するものである。企業の内実企業努力において優れるものである。

軍と宇宙技術において、その新しい技術基準における有用性の追求は、戦争放棄という自己プレゼンスとともに、現実への対処を模索できるものとする。

国民生活の転換は、新しい希望を有するものである。

これらは、日本国が、独自外交における世界戦略を有するとき、世界を変えることができるのである。これらは、中華人民共和国が、完全に李ファミリーのコントロールにあることに対して、聖書に記載される、日の出の国、日本国が、世界の日の出として、未来を与えることは、内政と外交において、新しい指針を抱くことにおける未来を可能とできるのである。

挑戦は、唯一真実を語る勇気である。未来は必ず希望において与えられなくてはならないのである。

世界へ自らの言葉で、未来を与えることは、現実との戦いを求めることである。

世界が戦争を求めるとき、平和と理想を世界に与えることは、その勇気における自己を求めるものである。